



2025年3月3日

車両盗難被害の4台に1台はランドクルーザー

～「第26回自動車盗難事故実態調査結果」を発表～

一般社団法人日本損害保険協会（会長：城田 宏明）は、「自動車盗難事故実態調査」を実施しました。

本調査は2000年度から自動車盗難防止対策の一環として、自動車の車両本体盗難や車上ねらいの実態調査を実施しているもので、今回が26回目となります。

1. 実態調査結果（概要）

- ・車両本体盗難、車上ねらい（部用品盗難）ともに件数は減少。
- ・ランドクルーザーが4年連続で車名別盗難ワースト1。車両本体盗難被害の4台に1台以上をランドクルーザーが占める。
- ・埼玉県が12年ぶりに都道府県別車両本体盗難の支払件数ワースト3にランクイン。
- ・車両本体盗難の1件あたり支払保険金が2023年と比較して約20%上昇。上昇要因は、盗難上位車種のフルモデルチェンジによる高機能な安全装置の標準装備による車両価格の上昇と考えられる。

2. 実態調査結果（詳細）

（1）車両本体盗難の車名別盗難状況 — ランドクルーザーの盗難割合が急増—

- ・2024年の車両本体盗難の車名別盗難状況ワースト1は、4年連続でランドクルーザーとなりました。
- ・ランドクルーザーが車両本体盗難全体に占める割合は27.5%と、車両本体盗難の4台に1台以上を占めています。
- ・車両本体盗難の被害が特定の車種に集中する傾向が一層強まっています。

車名別盗難状況—車両本体盗難

※構成比の各項目は小数点第2位を四捨五入しているため、表記の単純合計値が100%にならない場合があります。

車両本体盗難

2022年				2023年				2024年			
順位	車名（車種）	件数	構成比	順位	車名（車種）	件数	構成比	順位	車名（車種）	件数	構成比
1	ランドクルーザー	450	16.9%	1	ランドクルーザー	383	14.7%	1	ランドクルーザー	688	27.5%
2	プリウス	282	10.6%	2	アルファード	364	14.0%	2	アルファード	289	11.6%
3	アルファード	184	6.9%	3	プリウス	307	11.8%	3	プリウス	235	9.4%
4	レクサスLX	156	5.9%	4	レクサスLX	120	4.6%	4	レクサスLX	109	4.4%
5	レクサスRX	90	3.4%	5	ハイエース	60	2.3%	5	レクサスRX	89	3.6%
6	ハイエース	83	3.1%	6	クラウン	53	2.0%	6	クラウン	62	2.5%
7	クラウン	72	2.7%	7	ヴェルファイア	43	1.7%	7	ハイエース	43	1.7%
8	アクア	55	2.1%	8	レクサスRX	42	1.6%	8	ヴェルファイア	38	1.5%
9	C-HR	43	1.6%	9	ハリアー	37	1.4%	9	レクサスLS	34	1.4%
10	レクサスES	38	1.4%		メルセデスベンツ	37	1.4%	10	ヴォクシー	21	0.8%
上位10車種合計		1,453	54.7%	上位10車種合計		1,446	55.7%	上位10車種合計		1,608	64.3%
その他車種		1,203	45.3%	その他車種		1,151	44.3%	その他車種		891	35.7%
合計		2,656	100.0%	合計		2,597	100.0%	合計		2,499	100.0%

（注）ランドクルーザーには、プラドを含む。

(2) 車両本体盗難の支払件数（盗難多発都道府県）－埼玉県が12年ぶりにワースト3－
 2024年の車両本体盗難の支払件数（盗難多発都道府県）は、埼玉県が12年ぶり（2012年
 以来）にワースト3にランクインしました。一方で大阪府が2014年以来10年連続となっ
 ていたワースト3から脱却しました。

支払件数の推移（盗難多発都道府県）－車両本体盗難

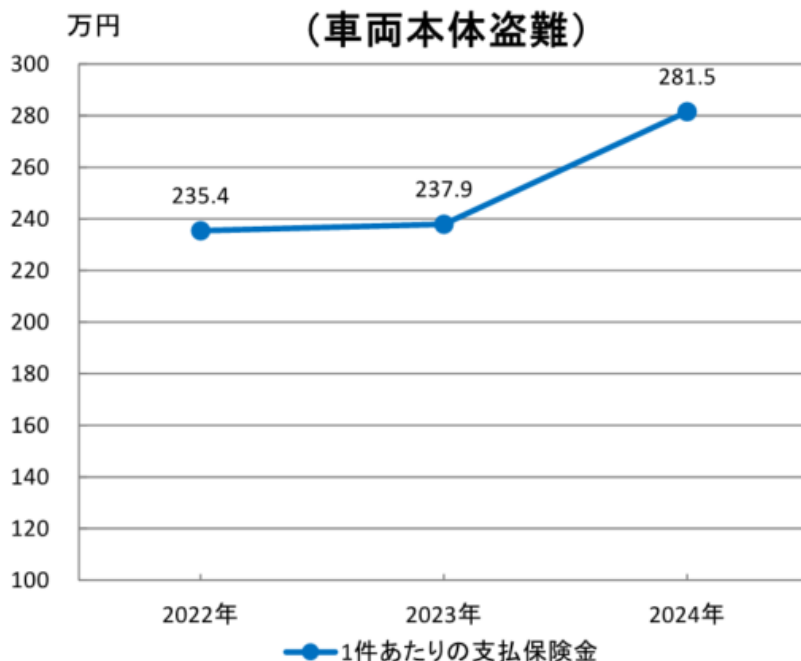
車両本体盗難

※構成比の各項目は小数点第2位を四捨五入しているため、表記の単純合計値が100%にならない場合があります。

2022年				2023年				2024年			
都道府県名	支払件数	順位	構成比	都道府県名	支払件数	順位	構成比	都道府県名	支払件数	順位	構成比
愛知県	576	1	21.7%	愛知県	411	1	15.8%	愛知県	515	1	20.6%
大阪府	370	2	13.9%	千葉県	301	2	11.6%	埼玉県	357	2	14.3%
千葉県	296	3	11.1%	大阪府	298	3	11.5%	千葉県	261	3	10.4%
埼玉県	233	4	8.8%	埼玉県	277	4	10.7%	茨城県	185	4	7.4%
茨城県	210	5	7.9%	神奈川県	264	5	10.2%	神奈川県	179	5	7.2%
栃木県	123	6	4.6%	茨城県	202	6	7.8%	大阪府	179	5	7.2%
神奈川県	122	7	4.6%	群馬県	96	7	3.7%	東京都	107	7	4.3%
群馬県	93	8	3.5%	岐阜県	81	8	3.1%	栃木県	107	7	4.3%
岐阜県	90	9	3.4%	三重県	80	9	3.1%	群馬県	104	9	4.2%
三重県	80	10	3.0%	栃木県	80	9	3.1%	岐阜県	78	10	3.1%
その他	463	-	17.4%	その他	507	-	19.5%	その他	427	-	17.1%
合計	2,656	-	100.0%	合計	2,597	-	100.0%	合計	2,499	-	100.0%

(3) 1件あたりの支払保険金の推移－1件あたりの車両本体盗難の支払保険金は上昇－
 車両本体盗難1件あたりの平均支払保険金は2023年と比較して約20%上昇しています。要
 因としては、近年、盗難上位車種のフルモデルチェンジが行われ、高機能な安全装置が標準装
 備されたことにより、車両価格が上昇したことが考えられます。

1件あたりの支払保険金の推移 （車両本体盗難）



その他の調査結果については、別紙「第 26 回自動車盗難事故実態調査結果」をご覧ください。
なお、以下リンクからもご覧いただけます。

【URL】 <https://www.sonpo.or.jp/about/useful/jidoshatounan/index.html>

3. 実態調査の実施概要

- ・ 調査期間：2022 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日
- ・ 調査対象：損害保険会社 21 社（損保協会非会員会社を含む）
- ・ 対象事案：全国で発生した自動車の車両本体盗難事故および車上ねらい（部品盗難含む）事故で、調査期間内に自動車盗難事故が発生し、保険金の支払いを行った事案
※代車等費用保険金のみ支払った事案なども含まれています。
- ・ 対象事案数：2024 年・・・車両本体盗難：2,499 件、車上ねらい：720 件
2023 年・・・車両本体盗難：2,597 件、車上ねらい：921 件
2022 年・・・車両本体盗難：2,656 件、車上ねらい：971 件

ご参考：自動車盗難認知件数・盗難等防止対策について

- ・ 自動車盗難認知件数は、2003 年の年間 64,223 件をピークに減少し、2024 年は年間 6,080 件となりました。（出典：警察庁「犯罪統計資料」）
- ・ 認知件数減少は、増加する自動車盗難被害に対して、当協会が参画する「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム」が長年にわたり自動車盗難の対策および減少に向けて精力的に取り組んできた成果です。
- ・ 普段から「バー式ハンドルロックや警報装置などの盗難防止機器を使用する」「防犯設備が充実した駐車場を利用する」「貴重品は車内に放置しない」など、複数の防犯対策を講じることが有効です。また、自宅の駐車場でも安心せずに、防犯カメラや防犯灯などを利用して窃盗犯が心理的・物理的に侵入しづらくすることも重要です。